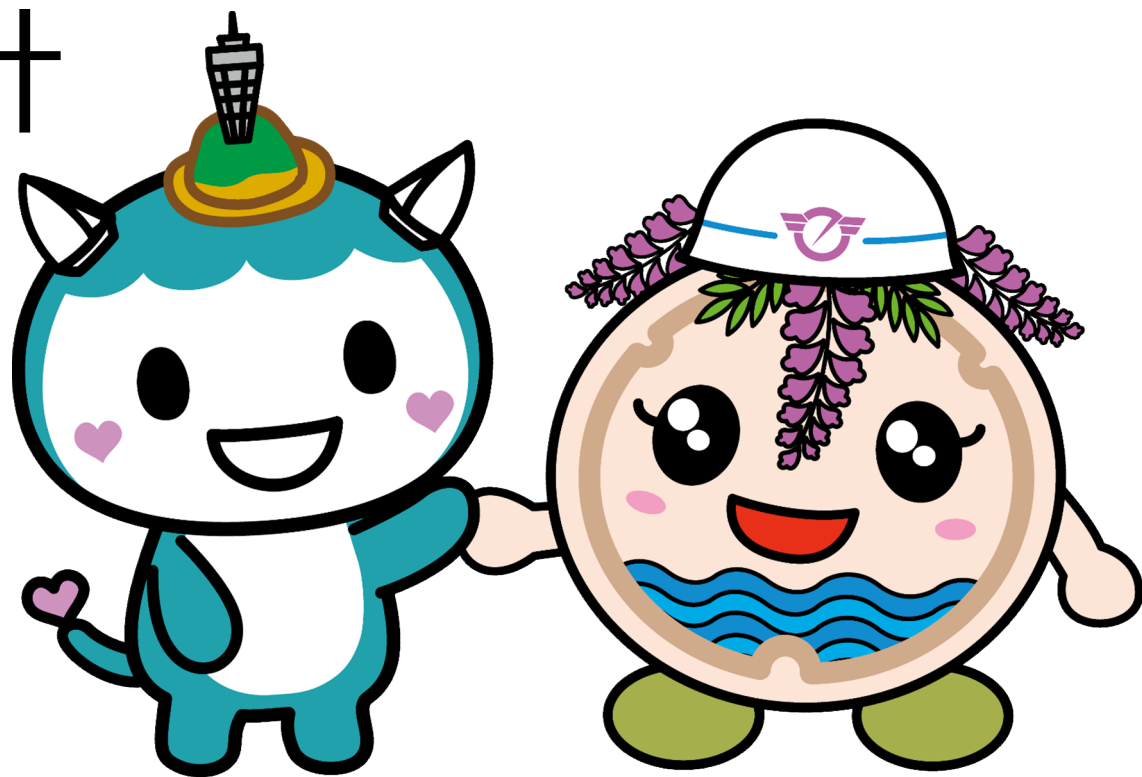


3 将来に向けた 経営目標・方針

下水道会計を健全に経営するために、「ふじさわ下水道中期経営計画」では、将来に向けた経営目標・方針を定めています。



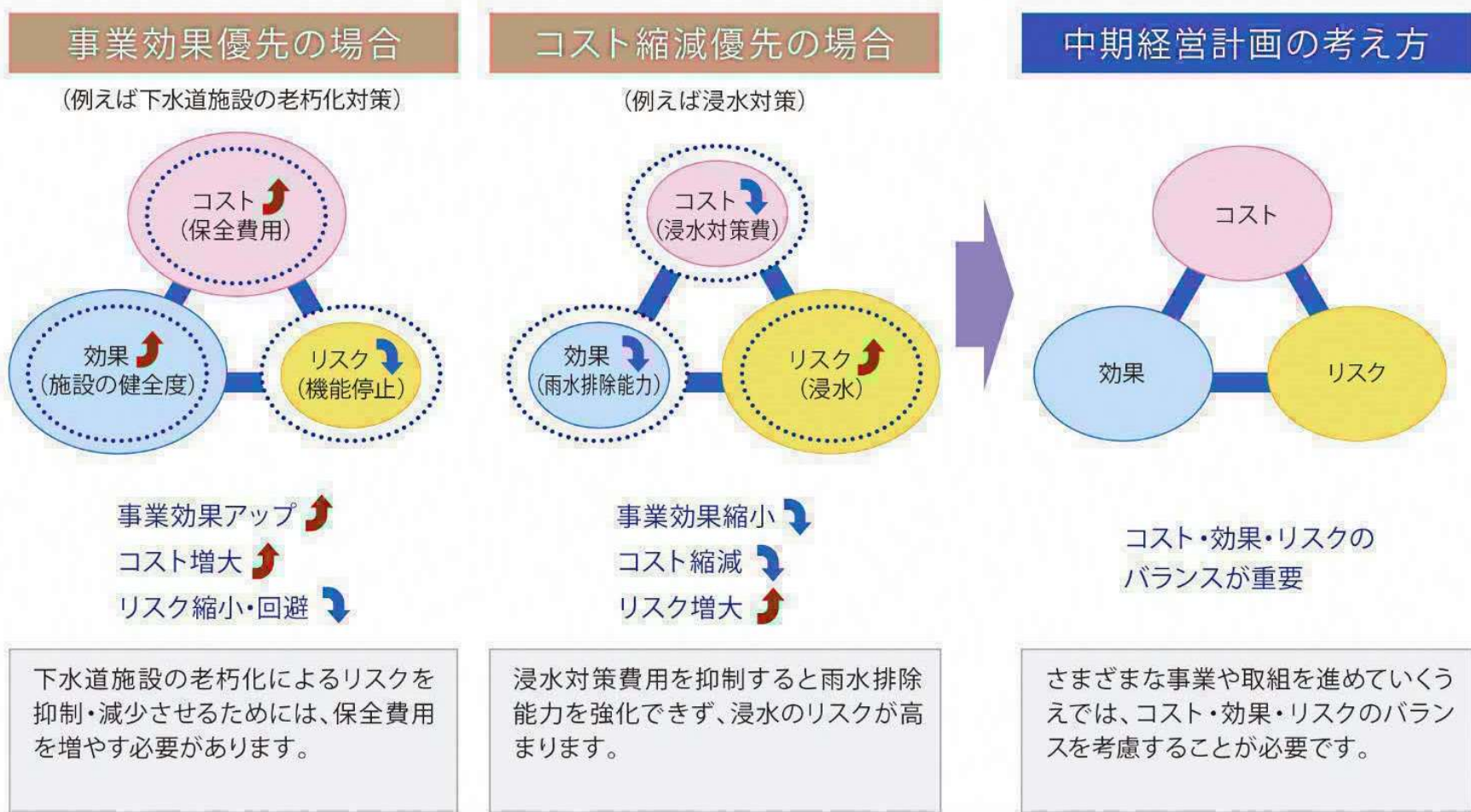
(1) 将来に向けた経営目標①

公営企業として経済性を発揮するとともに、下水道を次世代に引き継ぎ、快適で安全・安心な市民生活を守り、地球環境の保全、都市の成長を目ざしていくために、経営目標を定めました。

経営目標

職員の経営意識の徹底と、「コスト～事業効果～リスク」のバランスを考慮した事業運営により、独立採算制を原則とする「健全経営の持続」を図ります。

(1) 将来に向けた経営目標②



「コスト～事業効果～リスク」のバランスイメージ

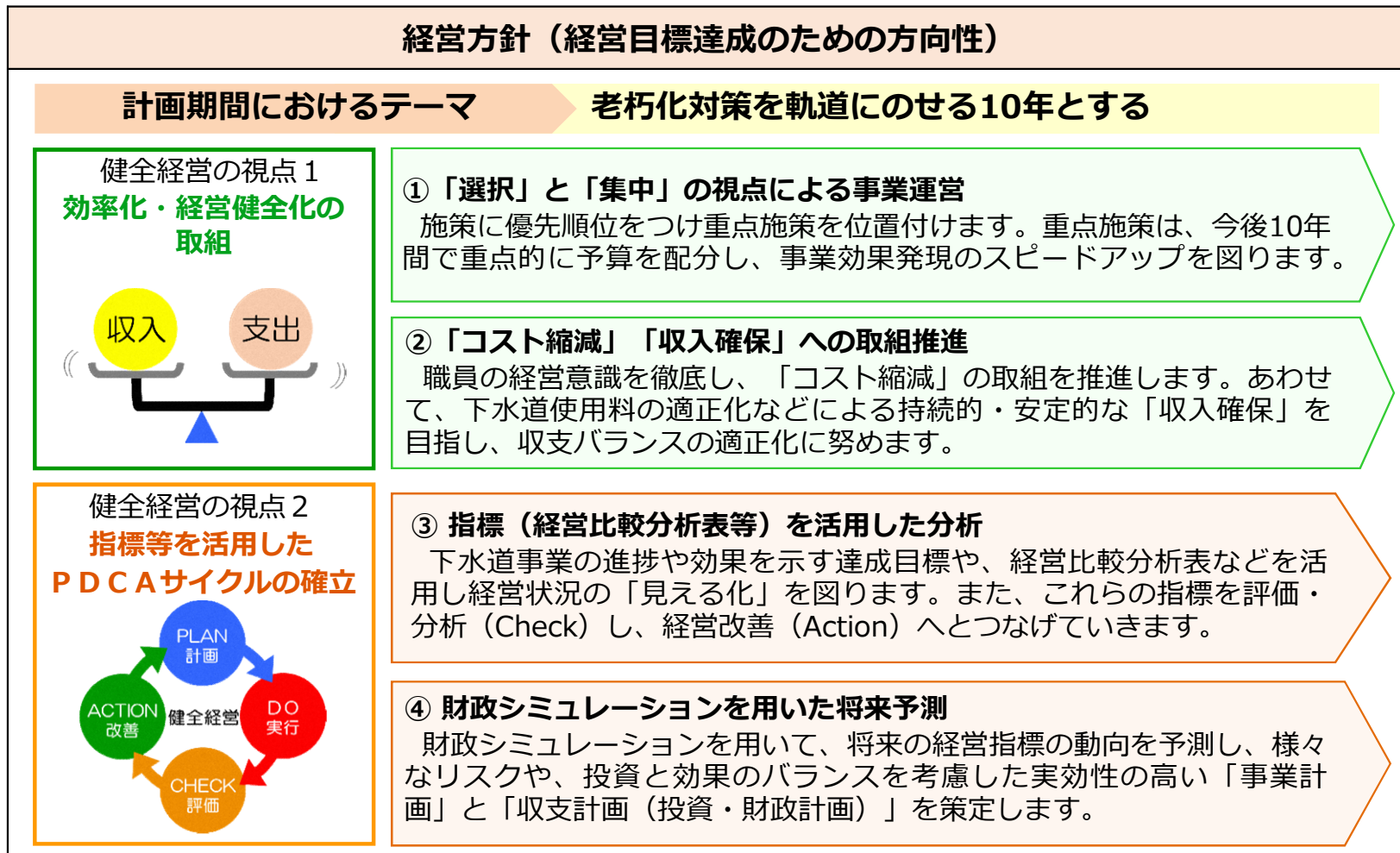
(2) 将来に向けた経営方針①

経営目標に掲げた「健全経営の持続」を達成するために、2つの視点から経営方針を策定しました。

<視点1> **効率化・経営健全化の取組**

<視点2> **指標等を活用したPDCAサイクルの確立**

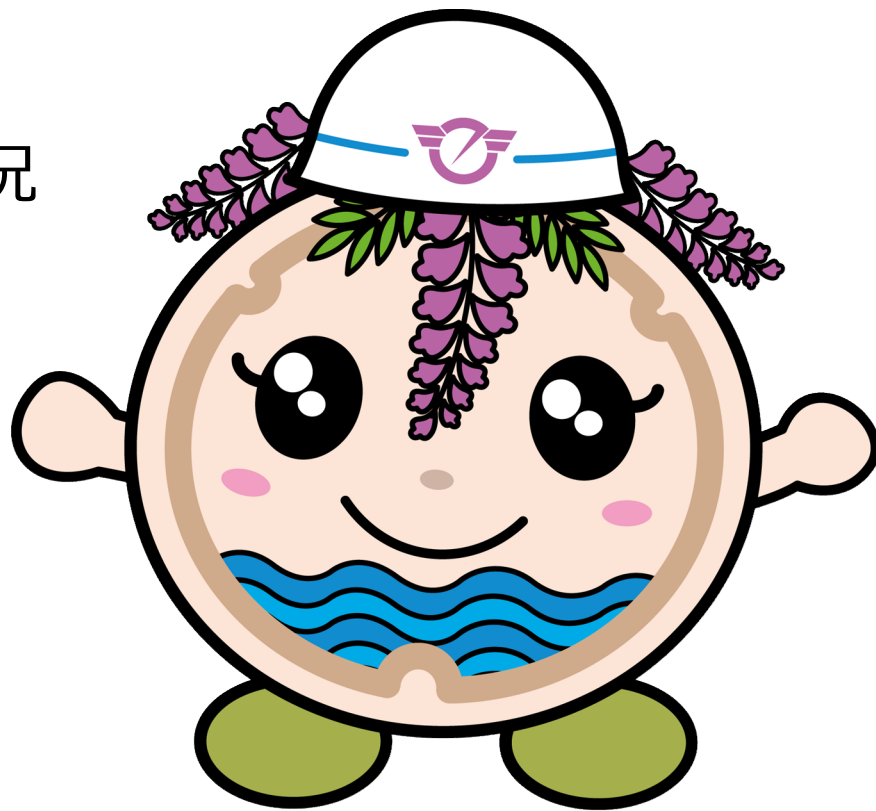
(2) 将来に向けた経営方針②



健全経営の視点と経営方針

(3) 経営計画目標①

本市では、経営比較分析表の指標を用いて、直近5年間の推移などから財政状況の分析を行っています。



(3) 経営計画目標②

本市の直近5年間推移

基準の100%を大きく下回る③流動比率、100%を下回る年度が続いた⑤経費回収率、建設投資増加に伴

指標	年度	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2
①経常収支比率	(%)	103.42	103.25	101.67	102.70	106.65
②累積欠損金比率	(%)	0	0	0	0	0
③流動比率	(%)	56.13	65.79	62.03	55.14	64.86
④企業債残高対事業規模比率	(%)	431.01	398.22	378.11	354.64	415.51
⑤経費回収率	(%)	101.84	100.89	97.39	99.75	100.45
⑥汚水処理原価	(円/m ³)	123.66	129.84	134.91	131.89	126.67
⑦施設利用率	(%)	63.66	64.02	63.42	65.32	63.30
⑧水洗化率	(%)	98.16	98.28	98.37	98.42	98.47

う企業債増加が今後見込まれる④企業債残高対事業規模比率について、今後特に注視すべき3つの指標として経営計画目標を定めております。

(3) 経営計画目標③

【安定性】 ③流動比率を 100%に近づけます

1年以内に支払うべき債務に対し支払う現金等がある状況を示す100%以上が必要。下回る場合は、1年以内に現金化できる資産で負債を賄っておらず、支払能力を高める経営改善を図る必要があります。

【独立性】 ⑤経費回収率 100%以上とします

使用料で回収すべき経費を、どの程度賄えているかを示す100%以上が必要。

一般会計繰入金は負担区分に基づく適正額を維持します

規則で一般会計が負担すべき経費を定めており、「雨水公費、汚水私費の原則」に基づき、雨水処理の経費は一般会計で負担しています。今後も、受益者負担と一般会計負担とをより明確にすることで、適正な額の負担を求めつつ、特定財源の確保や事業費の縮減等による経営努力を図ります。

【持続性】 ④企業債残高対事業規模比率を350%以内に抑制します (企業債残高では555億円を上限目安とします)

「企業債残高対事業規模比率」の状況を見極め、必要な投資を行うとともに、将来に過大な負担を残さないよう長期的な視点を持って借入額を抑制します。

おわりに

下水道会計では、企業会計を導入することで経営状況を的確に把握しつつ、ふじさわ下水道中期経営計画において、現状と課題について分析し経営目標・方針を設定することで、健全経営を維持するよう努めています。

これからも下水道会計を健全に経営していくために、今後とも藤沢市の下水道事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

最後までお読みいただき
ありがとうございました

藤沢市
下水道総務課

